

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	新潟県内における看護職向け研修の実態とニーズに関する調査研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	新潟県内の医療機関および介護関連施設に勤務する看護管理者または看護に関わる責任者（施設規模や機能の違いを考慮し、病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、特別養護老人ホームなどを含める）を対象としたアンケート調査の結果をもとに行った。調査期間は 2025/7/28～2025/9/10 である。
③概要	<p>現在、当院では地域の看護職が専門的な知識・技術を習得し、より質の高いケアを提供できるよう、シミュレータ等を活用した様々な研修を継続的に実施しております。今後、さらに充実した研修を提供するため、皆様のご意見を伺いたく、業務上のアンケートを実施いたしました。</p> <p>看護管理者の皆様から研修に関する課題やニーズを伺うことは、内容の妥当性や有効性を高めるうえで非常に重要です。また、研修・教育体制の整備は、看護師が働き続けやすい環境づくりに直結し、結果として県内での看護師の定着にもつながると考えております。本アンケートの結果を分析し研究として発展させる事は、地域全体の看護の質向上と、持続可能な人材育成に向けた貴重な資料となります。ぜひご協力お願い申し上げます。</p>
④申請番号	2025-0261
⑤研究の目的・意義	<p>(1)目的 看護管理者を対象に行ったアンケート結果を用い、研修の現状や課題、今後のニーズを明らかにすること。また、看護職の教育支援体制の整備に資する基礎資料を得ること。</p> <p>(2)意義 中小規模病院や関連施設における研修体制の現状と課題を明らかにし、地域における看護職の教育支援体制の整備に向けた実践的な示唆を得ることが期待される。また、看護師の定着支援や人材育成の観点からも、地域医療の持続可能性に貢献します。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	いただいた情報は、県内看護職の研修に関するニーズを調査し、今後、さらに充実した研修を継続的に提供するために用いられます。
⑧利用または提供する 情報の項目	アンケート結果を用いて、以下の内容を分析する。 <ul style="list-style-type: none">・ 看護師数、病床数等を含む施設規模・ 施設内で研修をする際の課題・ 院外研修に職員を参加させる際の課題・ 院外研修の活用目的やメリット、希望

	<ul style="list-style-type: none"> 今後の研修ニーズ 等
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院看護職キャリア開発コアセンター
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 看護部 田村奈実
⑪お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学医歯学総合病院 看護職キャリア開発コアセンター</p> <p>氏名：宮澤舞子・田村奈実</p> <p>Tel：025-223-6161 内線：0499</p>